
境界線の向こう

如月 雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

境界線の向こう

【Nコード】

N3278E

【作者名】

如月 雪

【あらすじ】

「超えてはいけない境界線」の続編です。アメリカへ渡った光と瑞希の新婚生活を、覗いてみてください。慣れないアメリカでの生活に、瑞希は戸惑うが光の助言と新しい友のお陰で学生生活を満喫していく。光は、ボストンの病院で久しぶりの手術に立ち会うことになった。執刀医の不運な事故により急遽メスを握ることとなった光。アクシデントを乗り越えた光を見るスタッフの眼は明らかにそれまでとは違っていた。光にアプローチする女医が現れ、瑞希にも付きまとう男性が出てきた。若い二人の絆はどうなるのだろう・・・

新しい朝（前書き）

超えてはいけない境界線の続編です。光と瑞希の愛の生活が始まります。

新しい朝

先生と結婚して、直ぐに一緒にアメリカに行く事になって、何だか訳も判らないまま数カ月が過ぎ去った。

ここは、二人の愛の巣……光の病院にも、瑞希の学校にも近いボストンのアパートメント……

「瑞希。今日から授業が始まるんだね？」光が珈琲を飲みながら目の前に座っている愛しい妻に声を掛けた。

「はい。もうドキドキなの。ついていけるか心配だし。友達も出来るかしら？」

瑞希は、少し心細そうに眉を潜めた。ショートカットだった髪の毛は、肩まで伸び緩くカールを描いている。スレンダーなスタイルは以前の中性的な雰囲気と相まって、いもいわれない色気を醸し出していた。

「瑞希なら大丈夫だよ。でも、俺は心配だな？」口元に付いたヨーグルトをペロツと舌で舐める仕草が、俺の理性を撃破する。

「何が心配なの？先生は心配性なんだから。大丈夫だよ？もう子供じゃないんだから」

瑞希はプーッと膨れてすねてしまった。

この娘は……ホントに……どこまで、俺を困らせたら気が済むのか……

せつかく、理性を掻き集めて我慢していたのに……

「キャッ！」

俺はテーブルの向にいる瑞希の唇にキスをした。啄むようだったそれは、いつしか深く濃厚なものに変わってゆく。舌が口腔内を犯しはじめ、瑞希の口から甘い声が漏れ始めた。

「ふぁ…ん…うん…」艶のある息づかいが零れる。

いつしか、俺は瑞希をテーブルの上に座らせ、キスを深めていく。薄い布の上から主張をしている胸の頂上にある蕾を指で摘むと瑞希の体はピクピクと震える。俺は耐え切れなくなり、白いブラウスのボタンを外し、白いレースに包まれたピンク色の蕾を口に含んだ。中途半端に露わになった胸は、妖艶に俺を誘っている。

「あ…ひあ…あん…」

妖しく悶える瑞希

愛しい妻

駄目だ！抑えが効かない！

俺の指が触れる度、瑞希の身体はまるで楽器のように色々な音を奏でる。

履いていたジーンズを下着と一緒に脱がせ、足をM字開脚させた。そこは、もうすでに甘い匂いの蜜で溢れていた。

「やん…見ちゃ やだ…」

恥ずかしいのか足を閉じようとする。

可愛い！

「嫌なんだ？ここは嫌そうにしてないけどな！」

閉じかけた脚を広げ、湧き出てくる泉に舌を突き立てた。

「ひゃーあーあー」泉から膨らんでいる蕾に、舌で舐め上げただけ

なのに瑞希はイッてしまった。

ぐったりと力の抜けた瑞希をテーブルの上に寝かせ、もう既にいきり立った欲望をまだひくついている泉の中に埋めていった。

「あああー」

イッたばかりの敏感な胎内は、入ってきた異物を強烈に締め付けてくる。

もう数え切れないぐらい交わった身体だが、そのたびに新しい快感を与えてくれる。

突き上げる度に、甘い喘ぎと共にキュッキュツと締め付けてくる瑞希が、

「ひゃーあー」

つと嬌声を上げ背中を弓なりに反った。同時に、胎内が一気に狭まり俺のものをぎゅつと締め付ける。千切れそうな締め付けに俺の欲は耐えられず中に吐き出してしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3278e/>

境界線の向こう

2010年10月28日13時47分発行